

産地改革チャレンジ事業（食と農のチャレンジ事業） 優良事例紹介

◆ 平成28年度事業実施

JA常陸大宮地区枝物部会

（常陸大宮市・大子町・常陸太田市・那珂市・水戸市・茨城町）

取組概要

「奥久慈の枝物」のPR用webサイト構築等による販売力強化の取組み

◆ 取組区分 ブランド化 生産振興 販売力強化・販路開拓

事業実施前

部会では、平成17年から新たな品目として「枝物」の導入を通じて遊休農地・耕作放棄地等を活用し、農地を保全するとともに、農業所得の確保を図り、中山間地域の活性化に向け取り組んでいます。

部会員数・栽培面積・栽培品目・販売量は毎年順調に増加し、枝物産地として確立しつつあり、さらに市場関係者との情報交換も積極的におこなっていましたが、小売店を含めた消費者段階での「奥久慈の枝物」産地の認知度は依然低い状況でした。



目揃え会の様子



枝物を使った生け込み(部会員の作品)

取組の成果

平成29年8月現在で既に当初目標を上回る出荷本数となっており、部会員も昨年度よりも30人増加しました。

また、Webサイトの立上げにより、産地情報提供や販売促進活動の中で問い合わせがあり、販売につながり、少しずつではありますが、効果を感じるようになりました。



取組の内容

四季折々の枝物の魅力と産地の生きた情報を消費者等に広く情報提供していくため、専用のWebサイトを立ち上げました。また、産地PRの一環として、Webサイトへ繋がるQRコード入り名刺やロゴマーク・統一ユニホーム・のぼりを作製し、市場担当者や量販店との販売前の事前PRを徹底的に行いました。

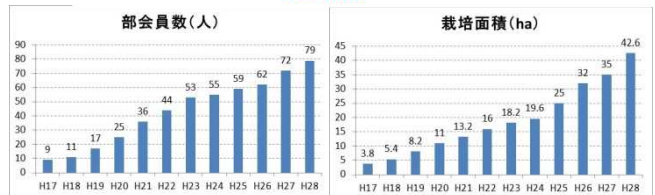
さらに、市場での荷物の品質や出荷形態、荷造状況について実際に学ぶとともに、他産地の出荷品目、出荷動向の調査を行うことを目的とした、大田市場への視察研修を行いました。



ロゴマーク



仲卸での枝物仕入れ状況を視察



今後について

今後は、枝物の品目を増やし、多様な注文に対応できる産地を目指すとともに、Webサイトのさらなる充実と、「奥久慈の枝物」に関わる様々なものにQRコードを記載し閲覧者を増やすべく活動を行っていきたく思います。また、普及センターとも連携して、生産者の高齢化を見据え新規就農者の確保も行っていきたく思います。



普及センター支援による農業入門講座の様子

事業費補助を活用した経費

- ・Webサイト構築費
- ・販売促進資材費
- ・大田市場への視察研修経費
- ・外部専門家(Web)派遣経費